

厚生労働省岐阜労働局
多治見労働基準監督署 発表
平成23年7月19日

担 当	
多治見労働基準監督署	
安全衛生課長	片桐正文
電 話	0572-22-6381

「リスクアセスメント研修会」の開催について

— 演習体験を通じた普及に向けて —

多治見労働基準監督署（署長 澤田幹男）は、リスクアセスメントの実務演習を主体とした研修会を下記のとおり開催します。

多治見署管内の平成22年における休業4日以上労働災害発生状況は、全産業で285件となっており、対前年比で7.5%の増加となりました。

特に、「商業等」における労働災害の発生状況（別紙参照）は、他の業種に比べ減少傾向が見受けられず、高止まりの状況で推移しています。

これら労働災害を防止するためには、職場にある様々な危険の芽（リスク）を見つけ出し、災害に至る前に先手を打って対策（リスクの除去・低減措置）を施す手法である「リスクアセスメント」の普及が最も有効と考えられます。

このような状況の中、管内の商業等の事業場の安全担当者等を集め、リスクアセスメントの演習を主体とした研修体験を通じて広くリスクアセスメントの普及を目指すために開催することとしたものです。

記

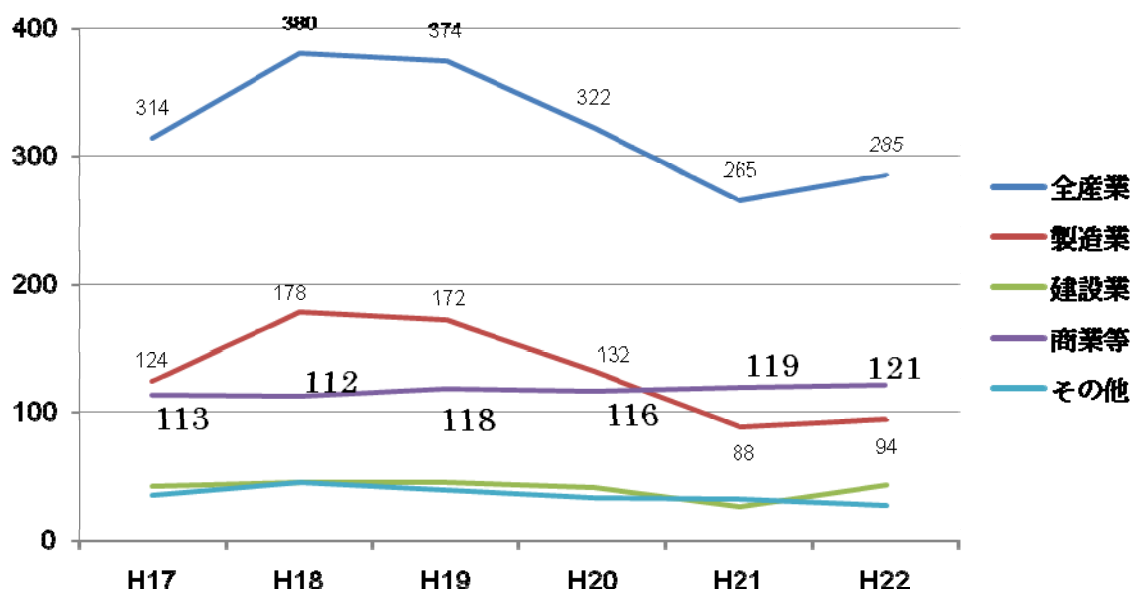
- 1 日 時 平成23年7月22日（金） 午後1時30分～午後4時
- 2 場 所 多治見市文化会館 大会議室（多治見市十九田町2丁目8番地）
- 3 内 容 リスクアセスメントの概要と演習
- 4 参 加 者 多治見署管内の商業等の安全担当者約35名

多治見労働基準監督署管内の労働災害発生状況
 (労働者死傷病報告による休業4日以上の死傷災害)

年別主要産業別発生状況

	全産業	製造業	建設業	商業等	その他
H17	314	124	42	113	35
H18	380	178	45	112	45
H19	374	172	45	118	39
H20	322	132	41	116	33
H21	265	88	26	119	32
H22	285	94	43	121	27

グラフ1



グラフ2 全産業における商業等の割合

